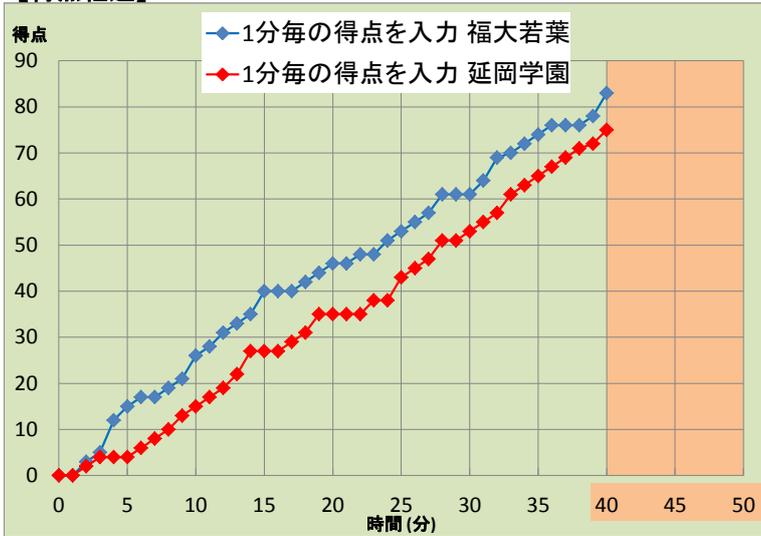


# 平成29年度 全九州高等学校体育大会 第70回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

## 【得点経過】



会場	福岡市民体育館	
日時	平成29年6月25日 (日) 12:00	
コート	Aコート	第3試合
カテゴリー	女子	決勝
主審	福岡 敏徳	
第1副審	窪田 淑子	
第2副審	佐藤 安里紗	

TEAM A		TEAM B
福大若葉	83	75 延岡学園
福岡1位		宮崎1位
○		●

## 【BOXスコア】

TEAM A		福大若葉高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	三輪 眞子	6	2			1	
5	嘉数 唯	22	1	8	3	2	
6	中嶋 まひろ	0					
7	篠原 愛佳	13		6	1	3	
8	鬼塚 彩乃	7	1	1	2	5	
9	町田 鈴華	0					
10	木多良 菜々	0					
11	稲垣 結乃	0					
12	清水 美希	0					
13	中嶋 ゆめ	17	5	1		1	
14	白土 英恵	0					
15	曾我部 希子	18		8	2	4	
コーチ	池田 憲二						
合計		83	9	24	8	16	

TEAM B		延岡学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	白川 万智	14	1	4	3		
5	セック マム ジャー...	8		4		2	
6	松村 美怜	0					
7	神野 海	25		11	3	1	
8	千々岩 美菜	4		2			
9	満井 遥	0					
10	塩月 琴絵	0					
11	山元 さくら	0					
12	稲留 玲奈	9	1	3		3	
13	山内 杏香	0					
14	江藤 涼	0					
15	ムホムホ ムロ ヲ...	14		6	2	4	
コーチ	内村 昌弘						
合計		74	2	30	8	10	

## 【戦評】

全九州大会女子決勝戦、福大若葉のスターティングメンバーは、#4、#5、#7、#8、#15、延岡学園は、#4、#5、#7、#8、#12で試合開始。第1P開始1分30秒決勝戦ということもあってお互い力が入り、得点がなかなか入らない。両チーム1本ずつシュートが入るとそれぞれの持ち味を出し始める。福大若葉は相手#15を力強くボックスアウトし、ディフェンスリバウンドからブレイク、またアウトサイドからの3Pが決まり、12-4と差を広げる。6分10秒福大若葉の速攻が決まり、延岡学園のタイムアウト。延岡学園は何とか#15にボールを入れ状況を打破、対して福大若葉は#5と#15が踏ん張り得点を重ねていく。第1Pは26-15で福大若葉のリードで終了。第2Pの入りから福大若葉の勢いは止まらず、ブレイクを中心にレイアップをで得点をしていく。延岡学園は#15にボールを集めようとするが、福大若葉の激しいディフェンスによりバスマスが増える。開始3分福大若葉は得点が止まり、33-22で福大若葉のタイムアウト。タイムアウト直後、延岡学園は#15にディフェンスを集め、#4の3Pシュートが決まり、延岡学園の勢いは変わらない。しかし、福大若葉は#4の3P#15のドライブインによりペースを自分たちの方に引き寄せる。残り2分30秒延岡学園はその流れを断ち切ろうとタイムアウト。残り2分は両チームともシュートまでうまくつなげ、46-35で福大若葉リードで前半終了。第3P福大若葉はマンツーマン、延岡学園はゾーンでスタート。福大若葉は#5と#15がインサイドで連携を試みるが、ペイント内を絞られ得点に結びつかない。福大若葉はゾーンオフenseに苦しんでいる中、#4が中心となってブレイクを出し始め、3Pで流れを一気に引き寄せる。残り5分50秒53-38となり、延岡学園タイムアウト。タイムアウト直後、延岡学園#7のミドルシュート、ブレイクからのバスケットカウントで10点差まで詰め寄る。第3Pは福大若葉がゾーンを攻めあげ、61-53福大若葉リードで第3P終了。第4P開始早々福大若葉#13が3Pシュートを決め、良いスタートを切るも、延岡学園は#5のゴール下のシュートで応戦。#5はオフェンスリバウンドにも絡み、献身的な働きでチームのリズムを創る。延岡学園#7の鋭いドライブからのペネトレイトでさらに勢いを増す。福大若葉はゾーンを攻略するのに時間がかかり、得点が停滞する。残り3分から延岡学園#15がコートに戻り、攻撃力に厚みが増す。残り1分46秒福大若葉が相手のターンオーバーから速攻を決め、78-71で延岡学園タイムアウト。状況は変わらず残り35秒、延岡学園最後のタイムアウト。9点差を詰めるために3Pシュートを決め、オールコートプレスからのファールゲーム。しかし、福大若葉の落ち着いたボールコントロールで3Pシュートを決め、83-75で福大若葉の勝利。延岡学園は最後まで粘り強くあきらめない精神は、見ている者を魅了する素晴らしいゲームとなった。

【戦評記者】 貞包 謙  
福岡県バスケットボール協会